

平成28年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村分)

ニホンザル	
白石市	1
角田市	2
七ヶ宿町	4
川崎町	6
丸森町	7
仙台市	9
山元町	12
大崎市	13
加美町	14

平成29年9月

宮城県環境生活部自然保護課

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

白石市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.95 ha</p> <p>(2)金額 2,158 千円</p> <p>(H27)</p> <p>(3)作物 水稲</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.93 ha</p> <p>(2)金額 2,467 千円</p> <p>(3)作物 水稲、果樹、野菜等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 被害面積は目標を達成したが、被害金額については増加した。果樹等単価の高い作物への被害金額が増加したことによる。また、農作物被害により、耕作を止めた農家も多い状況であるため、金額に反映されない被害も多い。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 銃器による群れの追い上げ及び捕獲の実施。</p> <p>○ 電気柵・防護柵の設置に対する補助の継続。</p> <p>○ 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 実施隊による追い上げ等を実施した。</p> <p>○ 電気柵・防護柵の設置に対する補助の継続した。</p> <p>○ 現地確認、広報配布時の回覧の際に廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を行った。</p>	<p>○ 電気柵の設置状況については、農家が季節によって設置場所を移動している場合等も多く、正確な状況の把握は出来ない。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 群れ2群の流動域や個体数の調査等を予定。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 15 頭</p> <p>発信機装着の増設数 5 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 捕獲した15頭の群れについては、群れの流動域が重複していることから所属群は不明である。平成27年度は現在、発信機を装着している3群の流動域や個体数のカウントなど群れの状況調査を実施した。</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業をする。</p> <p>○ 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を呼びかけた。</p>	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.00 ha</p> <p>(2)金額 0 千円</p> <p>(3)作物 水稻、りんご、かぼちゃ、野菜類等の農作物全般</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.00 ha</p> <p>(2)金額 0 千円</p> <p>(3)作物 ごく軽微なものを除き被害なし。</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 実施隊員による追い払い活動や定期的パトロール等により、被害を防止できた。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 角田市鳥獣被害対策実施隊員等による群れの追い払い及び捕獲を実施する。</p> <p>○ 引き続き、狩猟免許取得に対する補助を行う。</p> <p>○ 民家に近づけないような、環境整備に努める。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 出没情報に基づき、随時、角田市鳥獣被害対策実施隊員（以下「実施隊員」という。）による調査、追い払いを実施した。</p> <p>○ 実施隊員2名による被害防止パトロールを定期的実施した。</p> <p>○ 狩猟免許取得に要する費用の一部補助を行った。</p>	<p>○ 設置農地の該当なし。ニホンザル専用の電気柵を設置している農業者はまだいない。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 15 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 農耕地等へよく出没する隈東地区の南部方面を中心に、重点的にパトロールや追い払いを行う。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着頭数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 市の南東部（枝野石川口地区周辺）に襲来する群れは、大内、又は大内の分裂の群れと推測される。</p> <p>○ 群れのほかに、ハナレザルと思われる2～3頭の一群が、市の東西にそれぞれ出没している。</p>	<p>○ 獲目標15頭であったが、捕獲はなかった。</p> <p>○ 今後とも、被害を水際で防止していく。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 山林に接する耕作地などでの定期的パトロール等を行い、被害の防止に努める。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 定期的なパトロールを行い、被害防止に努めた。</p>	<p>○ 引き続き、パトロール等で被害防止に努めていく。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノシシの管理対策事業と重複する事項については、可能な限り連携して実施する。 	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害防止対策の講習会においては、ニホンザル及びイノシシ、ハクビシン等を対象に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講習会を開催することにより、注意喚起と被害防止方法等の啓発が図られた。

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 5.30 ha</p> <p>(2)金額 2,930 千円</p> <p>(3)作物 そば、水稻被害の軽減</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 7.03 ha</p> <p>(2)金額 2,739 千円</p> <p>(3)作物 大豆、野菜、果樹、水稻、そば</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 前年度に比べ大きく被害が出ており、特に水稻、そばの被害が甚大であった。被害対策として電気柵等の設置や定期的な追い払い活動を行ったが、出没件数が大きく増えたため被害を抑えられなかったと考えられる。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 電気柵の設置の推奨</p> <p>○ 電気柵講習会の開催</p> <p>○ 追い上げ活動の実施</p> <p>○ 群れの個体数及び流動域の把握</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 電気柵及びネット等による農作物被害の防除を実施。</p> <p>○ 電気柵注意喚起のチラシを全戸配布及び町内に設置されている電気柵全ての点検を実施。</p> <p>○ 銃器及び花火による追い払いの実施(5名体制で6月から11月末まで毎日巡回)</p> <p>○ 群れの個体数及び流動域の把握</p>	<p>○ 電気柵設置は非常に効果があるものだったが、未設置のところでは被害を防ぐことができなかったと考える。</p> <p>○ 定期的な巡回活動により効果的な追い上げを実施できた。</p> <p>○ 流動域の把握により効果的に追い払いが実施できた。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 100 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ テレメトリー調査の実施</p> <p>○ 生息調査の実施</p> <p>○ シャープシューティングの効果の検証</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 108 頭</p> <p>発信機装着頭数 10 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 有害捕獲として98頭捕獲。(個体数調整として捕獲はなし)</p> <p>○ ニホンザルの個体数や流動域の調査を実施した。</p>	<p>○ 個体数について把握しつつあるために、個体数調整としての捕獲は行わなかった。</p> <p>○ 前年度に引き続き、発信器取付率及び捕獲率等維持している。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 放棄、取り残し農作物の除去の指導の徹底 ○ 寺院神社等のお供え物の持ち帰りの指導 ○ 耕作放棄地の軽減 	<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導は行ってきたが、未収穫野菜等の放置があった。 ○ 地区により状態は違うが、少しずつであるが周知による効果が出始めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導方法の改善及び周知の徹底を図る。
<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会により広域的な被害対策の実施 	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 効率的な追い払いや生息調査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度同様に効率的な追い払い活動及び生息調査を行えた。

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.48 ha</p> <p>(2)金額 238 千円</p> <p>(3)作物 水稻、大豆、果樹</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.40 ha</p> <p>(2)金額 346 千円</p> <p>(3)作物 かぼちゃ、大豆、トウモロコシ、 白菜、人参等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 人馴れが進んでいるよう で、人家の周りや道路沿 いでの目撃が例年より多 かった。また、観光地など の周辺では通行人が餌を やっている等の情報も 入ってきており、今後看板 の設置なども検討してい く。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 地域における自主防除対策へ の支援・電気柵設置の推奨</p> <p>○ 銃器による群れの追い上げの 実施</p> <p>○ 電気柵・防護柵の設置に対す る補助の実施</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 電気柵の補助</p> <p>○ 週一回の実施隊による町内パ トロールを行った。</p>	<p>○ サルの被害が多い地域で は電気柵のポールをサル 用に長くするなど指導して いく。また、サルの人馴れ を防ぐためにも看板の設 置や目撃した際には追払 いを迅速に行う為にも実 施隊との連携も密にして いく。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 生息域調査の実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 30 頭</p> <p>発信機装着頭数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 生息域調査の実施</p>	<p>○ 今後も生息域調査の実施 を行っていき、分布の状況 を把握し効率的な駆除に 努める。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 耕作放棄地の除草</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 耕作放棄地の除草は行えな かった。</p>	<p>○ 耕作放棄地の効果的な除 草には至らなかった。</p>
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

丸森町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.50 ha</p> <p>(2)金額 250 千円</p> <p>(3)作物 米、大豆、えんどう、きゅうり、ネギ、大根、とうもろこし、柿、りんご等</p> <p>(4)その他 隠れ場を作らないことや、野菜・果物を放置しないことなどの環境整備の啓発。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.00 ha</p> <p>(2)金額 0 千円</p> <p>(3)作物 なし</p> <p>(4)その他 地区主催の研修会時における農地等の適正管理の呼びかけ</p>	<p>○ 被害状況の確認については、共済からのデータのみとしており、サルによる被害はなかった。</p> <p>○ 鳥獣被害対策実施隊による銃器による追払い及び捕獲を、2人体制で実施（年間延べ240日）したほか、週4日間のサル追いパトロール員による花火を使っての追払いなどの効果があった。</p> <p>○ 地区主催によるイノシシ被害防止対策研修会への参加、資料の提供により生息地の適正な管理の呼びかけを行った。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 鳥獣被害対策実施隊による銃器を利用した追払い及び捕獲の実施。（年間120日）</p> <p>○ 追払いパトロール員による花火を利用した追払いの実施（週4日）</p> <p>○ 住民による花火を利用した追払いの実施。（花火の無償配布（希望者））</p> <p>○ 隠れ場を作らないことや、野菜・果物を放置しないことなどの環境整備の啓発。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 鳥獣被害対策実施隊員による銃での追払い及び捕獲の実施。</p> <p>○ 追払いパトロール員による花火を使った追払いの実施。</p> <p>○ 住民の希望者に対し、追払い用花火を無償で配布し自主的に追払いを実施。</p> <p>○ 地区主催の研修会時における農地等の適正管理の呼びかけ</p>	<p>○ 住民からの情報を迅速に実施隊員に伝え、支部の隊員が現場に駆けつけるなどの効果がある。</p> <p>○ 発信機装着の個体の行動域を把握し、効率的な追払いを行っている。また、住民の花火による追払いを自主的に行っていることも効果をあげている。</p> <p>○ 地区主催による鳥獣被害防止対策研修会への参加、資料の提供により生息地の適正な管理の呼びかけを行った。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 大内の群れ、青葉の群れ、大内分裂の群れ、耕野の群れ、筆甫の群れなど、町内には推定320頭余りが生息しているものと見られ、発信機装着個体の動向を受信しながら追払いを行うのは効果を上げている。そのため、既に取付けてある発信機の電池の寿命を考慮し、年度計画により取り付けする群れの選定を行う。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 26 頭</p> <p>発信機装着頭数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 1 頭</p> <p>○ 大内の群れが分裂し、新たな軍団が結成された。</p> <p>○ そのため、電池切れが予想された青葉の群れの発信機の更新と、新たな群れに発信機を取り付けて監視を強化した。</p> <p>○ 生息調査は、群れ又は地区ごとの調査が一巡したため、町内全体の調査を実施した。</p>	<p>○ 発信機装着個体は、青葉の群れの更新1頭、青葉の群れから分裂した群れ1頭に装着。</p> <p>○ 町内の加害レベルはE～Fである。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 耕作放棄地の除草や山林の適齢伐採等を周知する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 地区主催の研修会時における農地等の適正管理の呼びかけ</p>	<p>○ 地区主催による鳥獣被害防止対策研修会への参加、資料の提供により生息地の適正な管理の呼びかけを行った。</p> <p>○ 高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増加に伴い、山と里の中間地などの荒廃によって、人間と野生鳥獣との本来の住み分けが失われている。農業後継者不足などのため、農地や山林の環境整備を自力で行うのは困難な集落もある。</p> <p>○ そのため、中山間地直接支払制度の活用による集落単位の対策を行っている。</p>
<p>5 その他</p> <p>○ 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の実施。</p>	<p>5 その他</p> <p>○ 丸森町鳥獣被害対策協議会総会の開催</p> <p>○ 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加</p>	<p>○ 丸森町鳥獣被害対策協議会総会の構成員である、各地区の区長会長、JA、共済組合、森林組合、県の職員などと、被害対策について連携を図った。</p> <p>○ 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会に参加し、県境を越えた被害対策などについて連携を図った。</p>

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.27 ha</p> <p>(2)金額 379 千円</p> <p>(3)作物 玉ねぎ、長ねぎ、じゃがいも、大豆、柿</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.13 ha</p> <p>(2)金額 167.797 千円</p> <p>(3)作物 水稻、長ねぎ、じゃがいも、とうもろこし、玉ねぎ、大根、白菜等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 面積、金額共に目標を達成した。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 地域における自主防除対策への支援</p> <p>(2) 群れの動きや地域特性に応じた大規模追い上げ・捕獲の実施：原則年1回(初冬を予定)</p> <p>(3) 定期被害パトロール：週1回を基本に実施予定</p> <p>(4) 群れの動きや地域特性に応じた小規模追い上げの実施：随時</p> <p>(5) サル群の位置情報収集及びホームページ掲示板での情報提供と活用促進</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 電気柵設置助成新規設置2,100m、受益面積102,000㎡(サル・クマ兼用)</p> <p>○ 大規模追い上げ(合計4日間)初冬季：11/30、12/7、1/23、1/30</p> <p>○ 宮城地区、秋保地区それぞれ週1回、定期被害パトロールによる問題個体の捕獲と、群れの出没抑制</p> <p>○ 小規模追い上げ 2/9に1回実施</p> <p>○ 電波発信機による群れの位置情報の把握、市ホームページ、公共施設での啓発</p>	<p>※ 被害報告があった農地に対してどの程度電気柵を設置したのかというデータは持っていない。</p> <p>○ 各種対策の実施によって、遊動域の東進を抑制する一定の効果は得られている。</p> <p>○ 各種追い上げ及び捕獲対応により、被害防止に貢献できた。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 130 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 115 頭</p> <p>奥新川A1群(WF)：5頭 奥新川A2群(WF)：13頭 定義の群れ(B)：8頭 不明(付近でテレメの電波受信なく、捕獲地からも特定不能)：1頭 秋保大滝A群(WF)：6頭 秋保大滝B群(WF)：5頭 二口A群(D~E)：2頭 高倉山A群(E~F)：17頭 高倉山B群(未調査)：14頭 高倉山C群(不明)：6頭 本砂金の群れ(D~E)：38頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p>	<p>○ 捕獲許可頭数130頭に対し、115頭の捕獲。</p> <p>昨年度実績(84頭)を上回っている。</p>

H28計画		H28実績		評価
発信機装着の増設数	11※1 頭	発信機装着頭数(増設及び交換)	11 頭	○ 市内に遊動域を持つ群れ(不明群含む)15群のうち12群16頭、及び群れ不明のもの3頭の合計19頭のサルへ発信機を装着して運用中。
発信機装着の更新基数	11※1 頭	発信機装着の更新基数	11頭のうち2 頭 奥新川B1群(C):1頭 定義の群れ(B):2頭 青下の群れ(調査中):1頭 関山の群れ(C):1頭 秋保大滝B(WF):2頭 二口A群(D~E):1頭 本砂金の群れ(D~E):1頭 三森山の群れ(未調査):1頭 不明な群れ(付近でテレメの電波受信なく、捕獲地からも特定不能):1頭	
(1) 評価の最も低いWFレベル4群とFレベル3群の多頭捕獲(通年で箱わなによる)		○ 全捕獲数115頭のうち、多頭捕獲は84頭		○ 大型捕獲施設により、群れの全頭捕獲は出来なかったものの、特定の群れの効率的な捕獲に成果が見られた。
(2) 対象群の全頭捕獲を目標とする大型捕獲施設の試験的導入		○ 全捕獲数115頭のうち、大型捕獲施設による捕獲は22頭		
(3) 電波発信機の増設及び更新:合わせて11基程度 ※1		○ 詳細は上記のとおり		
(4) モニタリング調査(被害、生息環境等)の実施及び結果のフィードバック		○ 遊動域調査の結果等を、被害防止のための市民啓発へ利用した		
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) 誘引要因除去の指導・啓発(廃棄野菜・未収穫果樹の適正管理、ゴミ管理の徹底、転作田の大豆収穫後の適正管理)		○ 必要に応じて、誘引要因除去の指導・啓発を行った		
(2) 出没頻度の高い河川並びに山麓周辺の中から環境管理モデル地域を選定して環境管理モデル事業の実施及び推進(市民参加型による柿もぎボランティア事業などの実施)		○ みやぎ地区にて、果樹へのトタン巻きを実施した(サル・クマ対策共通)		
(3) 餌付け自粛看板の設置(既設地域は増設及び更新)及びテラスの観光関係施設への配置		○ 特に餌付け実施が疑われる地域は無く、昨年度に引き続き、観光地等へ注意喚起テラス配架		
(4) 被害を受けにくい農作物の作付け誘導や栽培管理の指導		○ 苦情、相談が寄せられた際、または地域のイベント会場などで、サルの生息状況や自主防除の必要性及び具体的な対策について説明し、周知活動を行った。		
(5) 農地周辺や里山の管理に係る助言・啓発				
(6) 生息状況や自主防除の必要性等、具体的な対策についての周知及び説明				

H28計画	H28実績	評価
<p>5 その他</p> <p>(1) 第三期宮城県ニホンザル管理計画(平成25～28年度)に基づき、これまでの対策の検証を総合的に進めるとともに、住民の方々の協力や捕獲隊員及び関係機関・団体との連携を深めながら、より実効性のある対策を目指す。</p> <p>(2) ツキノワグマ及びイノシシ管理事業実施計画と類似する事業については、可能な限り連携に努め効果的に対応する。</p>	<p>5 その他</p> <p>サルの生息状況や自主防除の必要性及び具体的な対策についての説明や周知活動については、捕獲隊員及び関係機関・団体と連携し、クマ及びイノシシに関することと合わせて実施した。</p>	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.05 ha</p> <p>(2)金額 134 千円</p> <p>(3)作物 リンゴ</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.61 ha</p> <p>(2)金額 127 千円</p> <p>(3)作物 きゅうり、とうもろこし、かぼちゃ、 枝豆、トマト、ぶどう、スイカ</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 農作物被害が5～8月に集中していたため、追い払い及び捕獲活動を8月～12月に行った。それ以降は被害の報告は減少した。結果、被害面積は増加したものの、被害金額は目標を達成するものとなった。</p> <p>○ 28年度は山元町北部を中心に農作物に被害が出た。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ サルに対し餌付けしないようチラシ等にて周知する。</p> <p>○ 生ゴミや実収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知する。</p> <p>○ 追い払い用火火にて追い払いの実施。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ サルに対して餌付けしないようチラシ等で周知を行った。</p> <p>○ 未収穫農作物や摘果作業後の作物について適正な処理の徹底を図る。</p> <p>○ 追い払い用火火にて出没時に対応を行った。</p>	<p>○ サルの目撃情報の行政回覧や、定期的な巡回を行ったところ、住民に対してよりサルの被害があることの認識は深まったと考えられる。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 10 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ これまでに捕獲した実績はないが、被害が拡大するようなことがあれば個体数調整のため捕獲が必要になる。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着頭数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 8月から12月にかけて個体数調整として捕獲を試みたが、捕獲に至らなかった。</p>	<p>○ 被害地域の範囲は拡大しているため、来年度もさらに拡大するようであれば調査を行い、被害軽減及び個体数調整のため捕獲に努める。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ リンゴ等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 5～8月に山元町北部で農作物の被害が集中し、被害拡大が懸念されたため、8～12月にかけて捕獲、追い払い活動を実施した。</p>	<p>○ 結果的に被害金額は減額しているが、被害面積は拡大しているため、今後は被害面積を抑えるよう努める必要がある。</p> <p>○ 放置した農作物が、誘因の原因(餌付け)になっていることをより農家に周知する必要がある。</p>
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

大崎市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.01 ha</p> <p>(2)金額 3 千円</p> <p>(3)作物 野菜(大根, ねぎ, かぼちゃ等)</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.00 ha</p> <p>(2)金額 0 千円</p> <p>(3)作物</p> <p>(4)その他</p>	○ 被害なし
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 目撃情報による見回り</p>	<p>2 被害防止対策</p>	
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 3 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着頭数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 被害状況より現地確認</p>	<p>4 生息環境管理</p>	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 5.20 ha</p> <p>(2)金額 212 千円</p> <p>(3)作物 山際集落の露地野菜等への被害軽減を目標とする。</p> <p>(4)その他 箱わなによる捕獲を実施し、被害軽減を図る。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.32 ha</p> <p>(2)金額 391 千円</p> <p>(3)作物 水稻, 果実, 野菜, いも類</p> <p>(4)その他 人家敷地内での被害が増加している。</p>	<p>○ 被害面積は減少したが、被害額が増加した。原因は人家敷地内での自家消費野菜の被害が増えたためと推測する。</p> <p>○ 出没地域、新たな群れの拡大が危惧されるため、引き続き目標とする個体数の捕獲に取り組み拡大を抑制することが必要と考える。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 電気柵による畑への侵入防除</p> <p>○ 被害防除機材の導入助成</p> <p>○ 音花火による追払い</p> <p>○ 箱わな・銃器による捕獲、威嚇</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 被害防除機材(電気柵等12件)の導入助成を行った。</p> <p>○ 小野田・宮崎地区の行政区に音花火を配布し追払いを実施した。</p> <p>○ 猟友会による捕獲用わなの設置を行った。</p>	<p>○ 電気柵の設置により被害抑制効果が見られたため今後も導入助成を継続する。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 30 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 箱わなによる捕獲頭数の向上</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 18 頭</p> <p>発信機装着頭数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 捕獲頭数が18頭に減少した。</p>	<p>○ 箱わなによる捕獲により効果が見られた。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 町ホームページ等での捕獲事業の周知</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 被害防除機材の導入を推進し被害の抑制に努めた。</p>	<p>○ 町民に事業内容の周知徹底を継続する。</p>
<p>5 その他</p> <p>○ 広報誌等での鳥獣被害防止協議会活動の周知</p>	<p>5 その他</p> <p>○ 広報誌に助成事業等について掲載し協議会事業の周知を図った。</p>	<p>○ 電気柵設置、音花火による追払いが被害の抑制に有効なため今後も継続する。</p>